

連結財務の概況

■中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当中間期末 (2018年9月30日現在)	前期末 (2018年3月31日現在)
資産の部		
I 流動資産 1	35,344	33,318
II 固定資産	17,592	17,736
(有形固定資産)	16,317	16,372
(無形固定資産)	484	502
(投資その他の資産)	790	862
資産合計	52,936	51,054
負債の部		
I 流動負債	41,410	40,564
II 固定負債	5,737	6,196
負債合計	47,148	46,760
純資産の部		
I 株主資本 2	6,890	5,683
資本金	28,709	28,301
資本剰余金	23,377	22,968
利益剰余金	△45,148	△45,539
自己株式	△47	△47
II その他の包括利益累計額	△1,157	△1,393
その他有価証券評価差額金	37	38
為替換算調整勘定	981	948
退職給付に係る調整累計額	△2,176	△2,380
III 新株予約権	51	—
IV 非支配株主持分	3	4
純資産合計	5,788	4,293
負債純資産合計	52,936	51,054

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てにより表示しております。

POINT

1 流動資産 流動資産は、前期末に比べ20億26百万円(6.1%)増の353億44百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が7億83百万円、受取手形及び売掛金が4億76百万円、商品及び製品が3億72百万円、仕掛品が4億10百万円それぞれ増加したことによるものです。

2 株主資本 株主資本は、前期末に比べ12億7百万円(21.2%)増の68億90百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が3億90百万円増加、新株予約権の行使により資本金および資本剰余金がそれぞれ4億8百万円増加したことによるものです。

■中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	前中間期 (2017年4月1日から 2017年9月30日まで)
売上高	36,362	35,977
売上原価	30,709	30,240
売上総利益	5,652	5,737
販売費及び一般管理費	5,432	5,603
営業利益	220	134
営業外収益	690	68
営業外費用	278	198
経常利益 3	631	4
特別損失	42	—
税金等調整前中間純利益	588	4
法人税、住民税及び事業税	171	135
法人税等調整額	26	44
中間純利益又は中間純損失(△)	390	△175
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する 中間純利益又は親会社株主に 帰属する中間純損失(△)	390	△175

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てにより表示しております。

■中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	前中間期 (2017年4月1日から 2017年9月30日まで)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,470	1,432
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,311	△1,030
III 財務活動によるキャッシュ・フロー 4	561	402
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	63	120
V 現金及び現金同等物の増減額	783	924
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,720	3,538
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	4,504	4,463

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てにより表示しております。

POINT

3 経常利益 経常利益は、原材料価格高騰の影響があったものの、アルカリ乾電池や液晶ディスプレイ用信号処理モジュールなどの売上増に加え、コストダウンおよび為替影響により営業利益が増加したこと、さらに営業外収益として為替差益5億78百万円を計上したことなどにより、前中間期に比べ6億27百万円増の6億31百万円となりました。

4 財務活動によるキャッシュ・フロー 財務活動によるキャッシュ・フローは、ファイナンス・リース債務の返済による資金減少はありましたが、新株予約権の行使による資金増加などにより5億61百万円の資金増加となりました。